

石岡市の防災対策

水の確保 〈飲料水及び生活用水等〉

市では、災害に備え下記のように応急給水体制を整備しています。このほか、ペットボトルでの備蓄や湖北水道企業団からの「湖北の名水」500mLの優先的提供、災害時協力戸（別紙 防災マップ参照）での給水協力などがあります。

水 応急給水場所

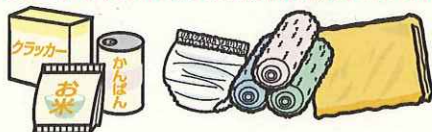


場所	住所	備考	場所	住所	備考
石岡市役所	石岡1-1-1	給水車	八郷総合支所	柿岡5680-1	給水車
石岡小学校	総社1-2-10	耐震性貯水槽	小幡小学校	小幡4080	給水車
府中小学校	若松1-11-18	耐震性貯水槽	葦穂小学校	小見1054	給水車
関川小学校	石川1153	耐震性貯水槽	恋瀬小学校	小見832-1	給水車
北小学校	根当10949	耐震性貯水槽	瓦会小学校	瓦谷1135-2	給水車
南小学校	南台4-1-1	耐震性貯水槽	園部小学校	宮ヶ崎6	給水車
八軒向第1公園(東小学校)	旭台1-8	耐震性貯水槽	林小学校	下林857-1	給水車
杉並小学校	杉並2-3-1	耐震性貯水槽	小幡小学校	川又746	給水車
高浜小学校	高浜62	耐震性貯水槽			
城南地区公民館	三村7109	耐震性貯水槽			

食料、生活必需品等の備蓄

被災して自宅での生活ができなくなった方々のために、避難所となる市内の小・中学校等に必要最低限の備蓄をしています。

食料………アルファ米、缶入りパン、クラッカーなど
 生活必需品…毛布、タオル、おむつなど
 資機材………発電機、投光機、ストーブなど



防災設備等の充実

〈情報伝達手段の整備〉

電話やテレビが使用不能でも、正確で迅速な情報伝達ができるように、防災無線などの整備を進めています(石岡地区は、平成27年度運用開始予定)。災害時は、市民の方々へ、市内に設置している屋外スピーカーから災害情報(避難所、給水所やライフライン関係など)を提供します。このほか、広報車や石岡市のメールマガジン、緊急速報メール(ドコモ、KDDI、ソフトバンク)などを活用して情報提供を行います。



〈避難所標識の設置〉

市内の避難所に標識を設置し、日ごろからの避難所の周知を図っています。

〈避難所標識〉



大規模災害時の電話相談窓口

0299-24-5090(平常時には使用できません。)

※消防本部に災害対策本部を設置した時に開設されます。

避難所の設置

避難所一覧(震度5弱以上の地震が発生した場合)

避難所	住所	避難所	住所	避難所	住所
石岡小学校	総社1-2-10	東地区公民館	東石岡4-6-24	小幡小学校	小幡4080
府中小学校	若松1-11-18	城南地区公民館	三村7109	林小学校	下林857-1
関川小学校	石川1153	国府地区公民館	国府5-7-1	小幡小学校	川又746
北小学校	根当10949	石岡海洋センター	染谷1415	旧日スポーツ交流館(旧日小学校)	染内630
南小学校	南台4-1-1	ふれあいの里石岡まわりの館	大砂10527-6	園部中学校	山崎1862
東小学校	旭台1-11-3	石岡運動公園	南台3-34-1	旧有明中学校	小幡189-2
杉並小学校	杉並2-3-1	園部小学校	宮ヶ崎6	旧八郷南中学校	下青柳716-1
石岡中学校	東石岡4-2-1	東成井小学校	東成井996	八郷中学校	柿岡3513-2
府中中学校	若松2-6-5	瓦会小学校	瓦谷1135-2	中央公民館	柿岡5680-1
城南中学校	高浜112	恋瀬小学校	小見832-1	片野集会所	片野157
国府中学校	総社2-12-1	葦穂小学校	小見1054	大増多目的センター	大増3606
石岡第一高等学校	石岡1-9	吉生小学校	吉生513-2	みなみ保育所	月岡1375
石岡第二高等学校	府中5-14-14	柿岡小学校	柿岡2159-2	八郷総合運動公園	野田600

地震・風水害から身を守るう!



石岡市防災マニュアル

地震に備える

日本は世界有数の地震大国。大地震はいつ、どこで発生するかわかりません。いざというときの備えは万全ですか？あなたの地震対策と行動を確認してみましょう。

地震対策チェック

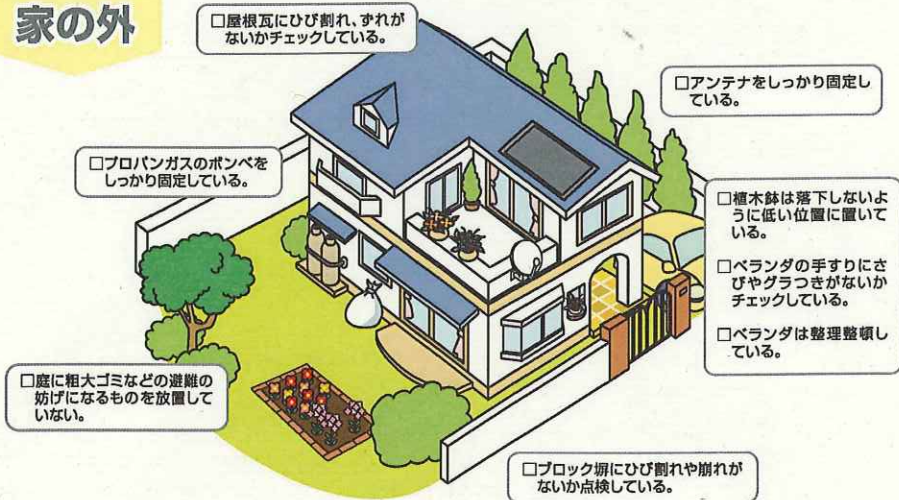
■ 阪神・淡路大震災では…約88%

地震発生時刻が午前5時46分で多くの方が就寝中であつたこともあり、家屋の倒壊・家具などの転倒による圧迫死が死亡者全体の約88%でした。

家の中



家の外



地震発生時の行動マニュアル

落ち着いて行動するために、地震が発生してから時間を追って、どんな行動をとればよいかを見てみましょう。

緊急地震速報

自分の身を守る準備をする

緊急地震速報が出されたら

あわてず、まず身の安全を確認

最大震度5弱以上が推定される場合、テレビやラジオ、携帯電話などを通じて緊急地震速報が発表されます。

これは、地震の発生直後に、震源近くで地震波をキャッチし、「もうすぐ強い揺れが始まる」ことをすばやく知らせる予報・警報のことです。緊急地震速報を見聞きしてから強い揺れが来るまでの時間は、数秒から数十秒しかありません。その短い間に、自分の身(特に頭)を守る準備をしましょう。

※震源に近い地域では、緊急地震速報が強い揺れに間に合わないことがあります。

地震発生

大きな揺れを感じたらまず身を守る

机の下など、丈夫な家具の下にもぐりこみ、揺れがおさまるまで待つ。クッション、雑誌などで落下物から頭を保護する。割れそうな家具、ガラス窓などから離れる。

大揺れがおさまったら火の始末

台所、ストーブなどの火元を確認する。

2~5分

家族の安全を確認

○ラジオ、テレビなどで災害情報・避難情報入手する。○避難のための出口を確認する。○靴を履き、転倒家具や、散乱したガラス片などに注意する。○ブレーカーを切り、ガスの元栓を閉じる。○非常持出品を持って歩いて避難する。

5~10分

隣近所の安否確認、助け合い

安否を確認し、協力し合って救出・救護。火災発生時には消火活動を行う。協力し合って避難する。

10分~半日

2~3日は自分でしのぐ

半日~3日



地震火災を防止するために

地震の二次災害でもっとも恐ろしい火災。地震時の初期消火のタイミングを頭に入れておき、あわてず確実に火の始末をしましょう。

〈地震時の初期消火のタイミング〉

【チャンス1】グラツときたとき

揺れはじめの瞬間に火を消す。ただし、最近では地震時に自動的にガスの供給が停止されるガスマイコンメーターの設置が進んでいるため、やけどなどの危険を冒してまで火を消す必要はありません。

【チャンス2】大揺れがおさまったとき

まずはテーブルの下などで身を守り、大きな揺れがおさまってから、火を消します。

【チャンス3】燃えはじめたとき

万一出火したら、すばやく備え付けの消火器などで消火します。天井まで火が回ってしまったら、すみやかに避難します。

2~3日は自分でしのぐ

地震発生後の数日間は水、食料に加え電気、ガスなどの供給が途絶える可能性があります。2~3日は自分でしのげるように、日頃から生活必需品(非常用品)を備えておきましょう。無理をしない。助け合う。揺れた際、倒れた建物に近づかない。デマに惑わされず、正しい情報を得る。

石岡市の災害対応〈避難所の開設〉

震度5弱以上の地震が発生したら市内の避難所を全て開設いたします。避難所の開設状況等の情報については、防災無線や広報車のほか、市のメールマガジン等にて、皆さんへ提供します。

※メールマガジンの登録方法については、裏表紙を参照してください。
※小・中学校が避難所に指定されている場合、体育館が避難所となります。
※市内の避難所一覧は、P7をご覧ください。

